

協定留学近況報告書

記入日	2016年 11月 10日
留学先大学	シェフィールド(The University of Sheffield)大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) <small>※学部等名(日本語):Geography, Sociology(現地言語での名称):人文地理学・社会学</small> <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2016年9月ー2017年7月
明治大学での所属	国際日本学部国際日本学科____専攻 / ____研究科____専攻
学年(出発時本学での学年)	学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

※協定留学出願前

①まず、希望の留学先の情報収集を行いました。明治大学で開催されている留学説明会ではイギリスの大学の情報を得ることができなかったため、留学斡旋業者が開催している「留学フェア」に参加していました。

実際に、Sheffield 大学の担当の方と大学の様子や学部の特徴について詳しくお話を聞くことができたので、とても役に立ちました！

②英語のスコア取得

私の場合は、IELTS を受験していました。IELTS は、TOEFL に比べてリスニング・スピーキングの難易度がそれほど高くなく、鉛筆の使用が義務付けられていたり、面接官によるスピーキングテストだったりテスト形式もかなりアナログです。(Writing は TOEFL よりもスコアが出にくいという印象を受けました)

Sheffield 大学の場合は、TOEFL のスコアも受け付けていますが他のイギリスの大学にも申請を出す場合 IELTS しか受け付けていない大学もあるので注意が必要です。(例:イーストアングリア大学)

③Academic English の英語コースの受講

留学斡旋センターが開講している英国大学に留学する人向けの英語コースに約 1 か月通いました。(2016 年 5 月頃)

しかし、個人的にはイギリスのように 9 月出発の場合は春学期が終わってからの約 1 か月半で、どれだけ英語にふれられるか、が一番大事になってくると思えました。私の場合は、夏休みの間一切英語を話す機会がなかったので現地に到着してからかなり苦労しました。(1 か月英語にふれないだけで、英語力はかなり落ちてしまいます…)

※協定留学出願後

①シェフィールド大学に出願

- ・留学計画書(1000 文字以内)
- ・英語力を示すスコア(IELTS or TOEFL のスコア)
- ・1 年次の成績証明書
- ・指導教官による推薦状

(当時 1 年生だったためゼミに所属しておらず、指導教官がいなかったため、留学先で選択する授業と内容に近い授業を実施している教授に推薦状を書いていただきました)

上記の 4 つの書類を提出します。

その後シェフィールド大学から留学許可証(CAS statement)が届けば、無事に留学できることとなります!!

②授業選択(Module Enrollment)

Sheffield 大学では、1 年間に最大で 120 単位履修することができます。(Minimum: 100 単位)

渡航前の段階で、大学にどの授業をとりたいのか提出します。しかし、ここで決めたものを絶対に選択しなければならないというわけではなく、現地での履修登録期間中ならいくらでも修正可能です。

※Politics など人気の学部の場合は、渡航前の事前登録の段階で人数がいっぱいになってしまい締め切ってしまうという事

態があるため、気を付けた方がいいです！私は Geography から主に授業をとっていたので、人が多すぎてとれない…という事態には陥りませんでした笑

③VISA 取得

Sheffield 大学の場合は、Tier4 Sponsor に登録されているため、VISA 申請の際には

- ・パスポート(これまでに発行したものすべて)
- ・留学許可証(CAS statement)
- ・英語力の証明書(IELTS)

のみ提出すればよかったため、思っていたよりも簡潔な手続きで済みました。

※VISA を申請する際に、BRP の受け取り場所を指定しなければならないのですがそれは郵便局ではなく Sheffield 大学を指定すると BRP の回収がしやすくなります。

④寮の選択

私の場合、最初は寮でご飯が提供される Catering を選択していたので寮の選択が 2 択(Stephenson Hall / Carrysbrook court)に限られてしまっていました。Sheffield 大学の場合は、Endcliff(大学まで歩いて 20~30 分)、Ranmoor(大学まで歩いて小一時間)、City(大学まで歩いて 5 分程度)の 3 つの地域に寮が分かれています。私が最初の 1 か月住んでいたのは endcliff にある寮でした。Endcliff はイギリス人が多く、留学生が少ないという特徴があります。Ranmoor は静かなため比較的大学院生が多いです。City には多くの留学生が住んでいます。

Sheffield の場合、catering のシステムは 1 週間に £47 を支払い、専用のカードが使えるお店で食べ物を買うというシステムなので自炊の場合とほとんど変わりません。また、寮のキッチンも自炊の寮に比べて設備が整っていませんでした。1 つの冷蔵庫は同じフロアにいる 30 人の学生でシェアしなければならなかったり、食料を置いておく棚も自分の分を確保することができなかったり…など。(自炊の場合は学生 5~6 人程度で 2 つの冷蔵庫が使えるうえに、食料や調理道具をおいておける棚もちゃんと自分用のが確保できます)お金を節約するためにも、自炊(Self-catering)を選択することをオススメします。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: Tier 4	申請先: イギリス
ビザ取得所要日数: 約 2 週間 (Premium にするとより早く VISA を受け取ることができます) (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: £328 別途、Health Surcharge で年間 £150 を支払いました

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

- ・パスポート(これまでに発行したものすべて)
- ・留学許可証(CAS statement)
- ・英語力の証明書(IELTS)

具体的な申し込み手順を教えてください。

VFS Global の UK VISAS and Immigration の日本語サイトからオンラインで VISA 申請予約をすることができました。オンラインで予約をしたあとは、最寄りの VISA 申請センターまで行くだけで VISA の申請をすることができます。申請に行った際に、VISA を申請センターで受け取るのか、自宅まで郵送してもらおうかの選択をすることができました。(郵送は有料です)

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

イギリスの場合は、アメリカと違い面接などをされることはありませんでした。(担当の方も全員日本人です！)

ビザ取得に関して困った点・注意点

どの書類を用意しておけばいいのか、残高証明の英訳はあるのかどうか、など書類の準備にとっても困りました。実際に留学斡旋業者が開催している VISA 取得説明会などに参加して情報収集をしていました。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

※現地での現金調達に関して

用意したもの:

クレジットカード(VISA 2 枚と Master card 1 枚の合計 3 枚)

デビットカード (1 枚)

私の場合は、日本からポンド紙幣をある程度持っていき最初の数か月はクレジットカードと現金を主に使って生活していました。イギリスは日本と違ってクレジットカード社会なので、少額であってもクレジットカード支払いがふつうです。盗難にあったときの場合も考えて、クレジットカードは合計3枚、デビットカードは1枚持って行きました。今のところ、イギリスのほとんどのお店でクレジットカード・デビットカードを使うことができます。

現金を引き出したい場合も、デビットカードを使用できるらしいので現金がなくて困ってしまう…という事態はさけられるのではないのでしょうか。(クレジットカードの場合は、現金引き出しの際の手数料がかなりとられてしまうので、デビットカードで引き出すことをオススメします)

現地での銀行口座を作る人もいますが、個人的には1年間(実質9~10か月)という滞在期間の場合は銀行口座を作る必要はあまりないのではないかと思います。

※携帯電話の購入に関して

私の場合は、日本からSIMフリーにした携帯を持参して現地のSIMを挿入して使っています。イギリスはSIMカードがかなり普及しているので、普通のスーパーでかなり安い値段でSIMカードを手に入れることができます。事前に日本から持って行く携帯が、イギリスの周波数に合致しているかなど調べておく必要はありますが、ほとんどの場合現地のSIMを挿入するだけで電話・インターネットを使うことができるのではないかと思います。また、SIMカードはオンラインでトップアップ(入金)することができるので、使う分だけ入金して、お金がなくなったらまたトップアップするというのが1年の滞在期間だったら一番安く済む方法なのではないかと思います。

※SIMカードのトップアップは、クレジットカードで簡単にできます!(イギリス国内で作ったカードじゃないと取り扱ってくれない、公式HPには書いてはありますが私は日本のクレジットカードでもトップアップすることができました。)

Sheffield大学では、オリエンテーションウィーク・寮に入ったときに無料でSIMカード(giffgaff)をもらうことができます!!

➡現地で携帯の購入手続きとかするのは、最初は難しいと思うので私はSIMカードを使うことをオススメします。

※荷物運送に関して

ほとんどの学生が事前に荷物を運送するという事はしていませんでした。渡航の際に大きなスーツケースを2~3個程度持ってきて、残りは現地で買い足すか日本から送ってもらうかのどちらかがいいのかなと思います。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ANA				
航空券手配方法	JTBという旅行会社を通して航空券の手配をしました ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	Manchester 空港	現地到着時刻	9月12日 10:50		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	バスで2時間程度				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

大学到着日	9月12日 11時頃
-------	------------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 9月16日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学から留学許可証をもらったと、Accommodation office から寮の手続きをするようにメールが		

来て、オンラインで手続きをすることができました。
 ➡万が一、最初に入った寮が気に入らなかった場合、寮の移動申請をだすことも可能です。(でも申請を提出することができるのは、入寮して約 1 か月後のことでした。また、希望の場所に移動できるかどうか保証はされていません。)私の場合は、移動申請をだしてから約 2 週間で希望の寮に移ることができました。(Catering から自炊の寮に変更することも可能でした！！)

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

寮の住所は渡航前に大学がお知らせしてくれます。
 ※しかし、VISA 申請には間に合わなかったため VISA 申請の際には大学の住所を使って手続きをしていました。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	2016 年 9 月 12 日～2016 年 9 月 16 日
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input type="checkbox"/> 無料 <input checked="" type="checkbox"/> 有料(金額: £5)
内容と様子は？	2016 年の秋から留学に来た人のほとんどが参加していました！主に、大学での勉強方法・図書館などの施設の使い方といった生活面に関することや、イギリスの文化を楽しめるようなもの(イギリスの伝統料理を食べられたり、アフタヌーンティーを格安で楽しめたりなど)、世界各国からくる留学生とお話できるカフェなど、交流できる機会がたくさん用意されているのがオリエンテーションウィークの特徴です。(夜にはパーティーやクラブもありました。)オリエンテーションウィーク期間中に出会った友達と、その後もずっと一緒にいるというケースが多いので、ぜひ参加することをオススメします。
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9 月 26 日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？
大学内もしくは現地の郵便局で BRP を回収したぐらいです。
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？
なし
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？
開設しませんでした。
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？
SIM カードを使っていました。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前に(5 月 日頃) <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input checked="" type="checkbox"/> 志願書類に記入して登録 <input type="checkbox"/> できなかった <input type="checkbox"/> その他()	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後に(9 月中旬日頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等の仲介 <input type="checkbox"/> できなかった <input checked="" type="checkbox"/> その他(とりたい授業がある学部の担当官にサインをもらいに行く形式です)	
登録時に留学生として優先されることは	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
優先が「あった」方はどのように優先されましたか？	
Sheffield 大学の場合、留学生はどのレベルの授業も履修可能です。(Level1～Level3 まで)大きく分かれています。留学生の履修が制限されている学部もありますが、基本的にどの学部からも授業を履修することが可能なので、かなり自由に授業を選ぶことができます。私の場合は、Geography, Sociology の 2 つから授業を履修しています。	

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？
<p>出発前に授業を登録した場合でも、現地での Module Enrollment の際に履修変更をすることは可能です。</p> <p>また、授業が始まってから 3 週間ほどは Module Add and Drop という履修変更期間が設けられているので、難しすぎた場合や思っていた授業と異なる授業だった場合、履修削除・追加をすることも可能です。</p> <p>※1 年間で 120 単位を最大でとることができるので、前期で 50 単位・後期で 70 単位といった履修も可能です。</p>

※イギリスの大学では、一つの授業が 20 単位程度なので半期でとることができる授業の平均が 3~4 つのみです。また、1 つの授業が Lecture と Seminar の両方で構成されているのも日本との違いだと思います。Lecture は学部にもよりますが平均 2 時間。Seminar という Discussion をする授業は約 1 時間です。受ける授業の数は日本の大学に比べると少ないですが、その分エッセイや大量のリーディングが毎週のように課されるので、空いた時間は常に授業の予習復習や課題に取り組むといった毎日です。

アメリカの大学と異なり、出席率や発言などは一切成績に含まれません。全て提出したエッセイや学期末のテストで評価されます。(Speaking が苦手な Writing が得意という人にとっては成績をとりやすいのかもしれませんが。)

また、成績の評価システムも日本の大学と大きく異なります。イギリスの大学では、70%以上が S、60~69 が A、50~59 が B、40~49 が C という評価になります。(40 以下は落第) 現地の学生でも、70%以上をとるのは至難の業だと聞いています。日本人の留学生のほとんどが、初めて成績を見たときは何でこんなに低いのかとかなり衝撃をうけるはずですが。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。							
	月	火	水	木	金	土	日
7:00				一日授業の予習・復習 Or エッセイに取り組んでいます		Day trip など大学が提供している日帰り旅行に参加	一日授業の予習・復習 Or エッセイに取り組んでいます
8:00							
9:00							
10:00	Understanding Social inequality Lecture (1h)	Understanding Social inequality Seminar (1h)	Social Cultural Geography Seminar (1h)				
11:00	Geography of Development Seminar (1h)	Social Cultural Geography Lecture (2h)					
12:00		Social Cultural Geography Lecture			Geography of Development Lecture (2h)		
13:00					Geography of Development Lecture (2h)		
14:00			Japan Day 2017 Meeting				
15:00			Japan Day 2017 Meeting				
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							

22:00							
23:00							
24:00							

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

シェフィールドは、イギリスで最も治安がいい都市と言われていて、自然も多いので過ごしやすいです。(しかし、どちらかという
と田舎に分類されるのでロンドンやマンチェスターでの生活をイメージしてくると、がっかりするかもしれません。)また、
Students Union により毎週のように旅行が企画されていたり、留学生向けに Global café や Global Conversation といったイ
ギリスの文化について理解するイベント・他の留学生と交流できる機会が毎週設けられていたり、留学生に対してのサポ
ートが手厚い大学だなと感じています。

大学の授業でも、リーディングの量が多くて大変ですが分からないところがあれば教授や Tutor が丁寧に教えてくれます。
(エッセイの提出期限が重なると毎日のように図書館にこもることになります。)

シェフィールド大学には、24 時間開放の図書館が 2 つあり、City accommodation を選択すれば図書館から近い寮になるの
で、とても良い学習環境が整っていると思います！

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

TOEFL, IELTS のスコアをとるのは大変ですが、シェフィールド大学では留学生に対する履修制限があまりないので、本当に
自由に自分の好きな授業をとれるのが一番の魅力だと思います。特に、政治学・ジャーナリズムの分野ではイギリスでもト
ップなので、これらの分野に興味がある人にとっては特におすすめしたいです。

「留学」を真剣に考えるようになると、語学面、現地での授業、友達ができるのかなどなど不安なことばかりが思い浮かぶと
思います。実際に私自身も留学してみて、楽しいこと以上に大変なことの方がたくさんある毎日です。しかし、大変なことの方
が多いからこそ留学を決意した際の目的を見失わないことが大切だと思います！留学を考えているみなさんには、ぜひもう
一度留学を通して達成したい目標・叶えたい夢を明確にしてほしいです。

